

設備紹介

令和2年度
デザイン総合振興対策事業

視線計測装置

【キーワード】 デザイン、ユーザビリティ評価、視線計測、

【背景】

企業のものづくりにおいて、製品が持つ機能はもとより、製品の使いやすさや操作のわかりやすさのほか、外観・印象等を差別化することが求められています。使いやすさやわかりやすさの評価方法として、製品を使っている人の観察やインタビュー、アンケートなどによる方法が一般的ですが、アンケート方式では、作り手の思いや被験者の主観によりデータにバイアスがかかり信憑性にかけてしまう場合もあります。視線計測では無意識に見たものを抽出するので、どのように判断・行動したのかを客観的、数値的に評価することができます。

当研究所では、デジタルデータ活用により効率的にデザインを評価するひとつのツールとして、視線計測装置「アイマークレコーダ」を整備しました。

【視線計測装置について】

導入した視線計測装置（株式会社ナックイメージテクノロジー社製 EMR-9）は、視線計測用のカメラがついた帽子をかぶるだけで視野映像に対する視線位置が検出できます。眼鏡をかけた状態での計測も可能で、外光の影響を受けにくいいため屋外晴天時での計測にも対応しています。

視線計測を行うと、製品だけでなく、チラシ、ポスター、Web サイト等の広告、パッケージ、商品陳列、など、あらゆるデザインの判断基準をデータ化することができます。人（消費者）がモノの「どこを」「どれだけの時間」「どのくらいの回数」注目したかを解析することにより、作り手が意図したところを見てもらえていたか、わかりにくさの原因はどこだったのかを検証できます。より良いデザインを判断するひとつの手段として、またその他の用途にも、ぜひ御活用ください。

<仕様>	
検出方式	: 瞳孔・角膜反射法／ 暗瞳孔法／ 角膜反射法
分解能	: 0.1°
映像記録方式	: MPEG4 640×480pixel
保存形式	: SD メモリカード



図1 視線計測の様子

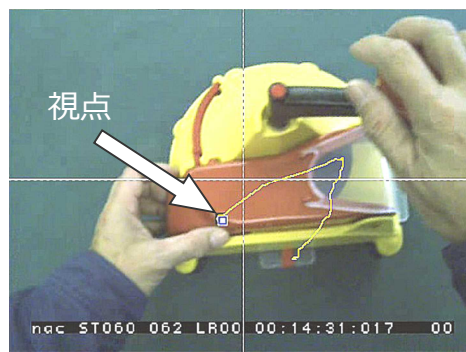


図2 視野映像の画面

お問い合わせ先 静岡県工業技術研究所
ユニバーサルデザイン科
電話 054-278-3024